

平成 26 年度公共事業再評価の対応方針について

平成26年度公共事業再評価の対象となった9事業について、公共事業評価監視委員会の意見具申を踏まえ、対応方針を以下のとおりとします。

1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会(委員長:松岡保正氏)に意見を求めた9事業に関して、同委員会から県の再評価案を「妥当」とする意見の具申がありました。

経緯等 平成26年 7月29日 第1回県公共事業再評価委員会(再評価案作成)
 平成26年 9月12日 公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査2回)
 ~12月19日
 平成27年 1月 9日 公共事業評価監視委員会から意見具申

2 県の対応方針

再評価対象事業に対する県の対応方針は、表-1のとおりとします。また、方針理由は【別紙1】、委員会からの意見に対する対応は、【別紙2】のとおりとします。

表-1 平成 26 年度 公共事業再評価対象事業一覧及び対応方針

分野	再評価理由	事業名	路河川名等	箇所名(市町村名)	採択年度	現行計画		県の再評価案		評価監視委員会意見	県の対応方針
						総事業費(百万円)	H26末事業進捗率(%)	方針	コスト縮減額(百万円)		
道路	再々評価	社会資本整備総合交付金事業	一般国道144号	上野バイパス(上田市)	H12	9,300	48.3%	継続	0	県案どおり	継続
	再々評価	社会資本整備総合交付金事業	一般国道406号	村山橋(長野市~須坂市)	H2	23,805	99.5%	継続	0	県案どおり	継続
	再評価	社会資本整備総合交付金事業	主要地方道飯島飯田線	切石~北方(飯田市)	H17	5,000	64.8%	継続	0	県案どおり	継続
	再評価	防災・安全交付金事業	一般県道内川姨捨停車場線	冠着橋防災(千曲市)	H17	4,500	68.4%	継続	0	県案どおり	継続
河川	再々評価	防災・安全交付金事業	一級河川十四瀬川	長地(岡谷市)	H11	990	90.7%	継続	0	県案どおり	継続
	再々評価	防災・安全交付金事業	一級河川武井田川	豊田(諏訪市)	H2	5,850	92.9%	継続	0	県案どおり	継続
	再々評価	治水ダム建設事業(再開発)	一級河川松川	松川ダム(飯田市)	H2	18,200	56.8%	(見直して)継続	-	県案どおり	(見直して)継続
林道	再々評価	県営林道開設事業	大島氏乗線	(喬木村)	H6	2,760	78.5%	(見直して)継続	8.0	県案どおり	(見直して)継続
下水道	再々評価	社会資本整備総合交付金事業	千曲川流域下水道	上流処理区(長野市、千曲市、坂城町)	H2	92,300	87.7%	継続	0	県案どおり	継続
合計				9件		162,705			8.0		

平成26年度公共事業再評価の対応方針

No	路河川名 箇所名	再評価 理由	県の対応方針		担当 部局
			方針	方針理由・見直し内容	
社会資本整備総合交付金事業					
1	一般国道 144号 上野バイパス (上田市)	再々評価	継続	高速交通網や観光拠点へのアクセス道路としての機能を担い、現道の渋滞緩和、地域生活の安全・安心の実現や地域間交流の促進を図る観点から「継続」とする。	建設部
社会資本整備総合交付金事業					
2	一般国道 406号 村山橋 (長野市～須坂市)	再々評価	継続	県道の付替工事及び新橋建設に伴う旧橋撤去と護岸工事を残しており、円滑で安全な交通の確保、治水安全上の観点から事業の必要性があるため「継続」とする。	建設部
社会資本整備総合交付金事業					
3	主要地方道 飯島飯田線 切石～北方 (飯田市)	再評価	継続	飯田市街地の環状道路、高速交通網や医療機関へのアクセス道路としての機能を担い、地域生活の安全・安心の実現や地域間交流の促進を図る観点から「継続」とする。	建設部
防災・安全交付金事業					
4	一般県道 内川姨捨停車場線 冠着橋防災 (千曲市)	再評価	継続	新橋建設に伴う旧橋撤去と護岸工事を残しており、治水安全上の観点から事業の必要性があるため「継続」とする。	建設部
防災・安全交付金事業					
5	一級河川 十四瀬川 長地 (岡谷市)	再々評価	継続	残区間はJR渡河部を中心とした河道拡幅であり、浸水被害防止の観点から事業実施が必要であるため「継続」とする。	建設部
防災・安全交付金事業					
6	一級河川 武井田川 豊田 (諏訪市)	再々評価	継続	残区間は、流下能力が不足しており、浸水被害防止の観点から事業実施が必要であるため「継続」とする。	建設部

平成26年度公共事業再評価の対応方針

No	路河川名 箇所名	再評価 理由	県の対応方針		担当 部局
			方針	方針理由・見直し内容	
治水ダム建設事業(再開発)					
7	一級河川 松川 松川ダム (飯田市)	再々評価	(見直して) 継続	飯田市中心部の洪水氾濫を防ぐ松川ダムにおいて、貯水池への流入土砂の軽減のため、洪水バイパス施設の建設は必要である。また、予備放流の解消及び貯水池機能の回復を図るため、堆積土の有効活用を図るなどし、堆積土除去計画を見直して継続とする。	建設部
県営林道開設事業					
8	大島氏乗線 (喬木村)	再々評価	(見直して) 継続	地域の林業振興のための基幹的な林道であり、災害時の緊急迂回路の役割も期待されることから「見直して継続」とする。	林務部
社会資本整備総合交付金事業					
9	千曲川流域下水道 上流処理区 (長野市、千曲市、 坂城町)	再々評価	継続	生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与する事業であり、残事業も流域関連市町の公共下水道整備に合わせた処理施設の増設等であることから「継続」とする。	環境部

平成26年度公共事業評価監視委員会からの 意見に対する対応方針

No	【事業名】 箇所名	①審議上のその他の意見	県の対応方針
1	一般国道144号 上野バイパス (上田市)	・特になし	
2	一般国道406号 村山橋 (長野市～須坂市)	・特になし	
3	主要地方道飯島飯田線 切石～北方 (飯田市)	・新たに道路を整備する場合は、防災や景観などの観点から、電線類の地中化についても検討する必要がある。	・当該事業は、事業進捗率等から電線類の地中化は困難である。 ・新たに道路を整備する際は、国が進める無電柱化推進会議の検討状況も踏まえ、電線類の地中化を検討してまいりたい。
4	一般県道内川姨捨停車場線 冠着橋防災 (千曲市)	・特になし	
5	一級河川十四瀬川 長地 (岡谷市)	・特になし	
6	一級河川武井田川 豊田 (諏訪市)	・特になし	
7	一級河川松川 松川ダム (飯田市)	・洪水バイパス施設からの放流や堆積土の直接排出については、下流の河川環境に与える影響を適切に評価できるよう、継続してモニタリング調査を実施する必要がある。	・洪水バイパスによる影響については、今後も継続してモニタリング調査を実施してまいる。また、堆積土の直接排出については、下流の河川環境に与える影響を適切に評価できるよう調査内容を検討し、実施してまいりたい。
		・天竜川水系の総合的な土砂管理を推進するため、引き続き関係機関と連携を図る必要がある。	・天竜川水系及び遠州灘の総合的な土砂管理の推進を目指し策定された連携方針を踏まえ、土砂管理計画の策定に向け、関係機関と情報共有や調整を図り、連携を強化してまいりたい。
		・施設の整備と並行し、現地見学会など、地域の子供たちが過去の災害を学習できる機会を設ける必要がある。	・小学校のダム見学やダムの一般開放等の機会を通じて、ダムの目的や設備等を説明してきた。今後は、過去の災害をより学べるよう、内容の充実を図ってまいりたい。
8	大島氏乗線 (喬木村)	・特になし	
9	千曲川流域下水道 上流処理区 (長野市、千曲市、坂城町)	・特になし	